

有限責任中間法人日本臨床高気圧酸素・潜水医学会 平成 18 年度社員総会議事録

日 時:平成 18 年 5 月 19 日(金)17:30～18:25

場 所:ホテルライフオート 4F グラーベ

定款に則り、会長が議長となり、社員総数 62 名中、委任状 33 名、出席者 23 名で定足数を満たしており社員総会が成立している旨を告げ、開会を宣言した。議事録署名人として古山信明氏(千葉大学)と奥寺敬氏(富山大学)が指名された。

議事 1. 平成 17 年度庶務報告

総務担当・有賀理事が提出資料に基づき、新入会者 11 名、退会者 4 名で正会員 85 名、賛助会員 5 社であることを報告し承認された。

議事 2. 平成 17 年度事業報告

総務担当・有賀理事により以下が報告され承認された。

1. 学術集会の開催

第 2 回学術集会が島崎修次会長(杏林大学)のもと、平成 17 年 5 月 20 日、東京・スクワール麹町において開催された。

2. 機関誌の年 2 回発行予定を今年度 3 回に

2 巻 1 号は学術集会・プログラム抄録号として平成 17 年 4 月に発行した。当初は 2 巻 2 号を年末に発行する計画であったが、高気圧酸素療法ガイドライン最終案の公表と Mild HBO に関する早期提言の必要性から発行を 10 月とし、本来年末発行予定号の一部論文を 2 巻 2 号に掲載し、残りを 2 巻 3 号として 12 月に発行した。

3. 『高気圧酸素療法のガイドライン』の作成

数度の検討会を経て原案をまとめ、最終案とした。内容は 2 巻 2 号に掲載済みである。

4. 専門医制度導入の検討

上記の審議の過程で、本学会として専門医制度を導入する必要があるとの認識に達し、平成 17 年第 1 回理事会の議を経て「専門医制度検討委員会」を発足させ、検討を重ね、現在は規則等の具体的検討に入っている。

5. Mild HBO に関する問題提起

平成 17 年臨時理事会(平成 17 年 9 月 3 日)において、mild HBO のわが国の設置および使用の状況

について資料等に基づき議論し、日本国際高気圧協会が非医療行為に限り使用するとしている機器が、エステ、アンチエイジングなど「健康医療」をうたい文句に輸入販売されている現状(約 400 台)に鑑み、理事会として以下の対応などを行うこととした。

- (1) 会員向けに mild HBO についての論文の学会雑誌掲載
- (2) 上記の早期実現のため学会雑誌発行予定の繰り上げ(2 巻 2 号発行を 10 月)
- (3) ホームページ上で注意の喚起(一般向け)
- (4) mild HBO ユーザーの教育啓発
- (5) mild HBO について来年の学術総会でのパネルディスカッション採用

議事 3. 平成 17 年度決算報告

資料に基づき総務担当・有賀理事により以下が報告され、承認された。

収入は会費として 135 万円、機関誌の公告収入などで 42 万円、合計 178 万円となった。それに対して機関誌が 3 号発行されたことにより支出が合計約 220 万円となって単年度としては赤字となっている。

議事 4. 平成 18 年度事業計画

総務担当・有賀理事より以下が報告され承認された。

(1) 学術集会の開催

第 3 回学術集会は浅井康文教授(札幌医科大学)のもと、5 月 20 日(土)、ホテルライフオーにて開催される。

(2) 機関誌の年 2 回発行

3 巻 1 号は学術総会・プログラム抄録号として 4 月に発行した。3 巻 2 号を 12 月に発行する予定である。

(3) 専門医制度導入の検討

既に数度の専門医制度検討委員会を経ているが、規則、細則など具体化を進めていく。

(4) 事業内容充実には会員(正会員、賛助会員)増が必要不可欠である。学術集会や機関誌の PR に努めるとともに会員各位の努力を期待したい。

(5) 外保連(外科系学会社会保険委員会連合)へ加入する方向で予算等を検討する。

議事 5. 平成 18 年度予算案

総務担当・有賀理事より資料に基づき予算案が説明され、承認された。

議事 6. 第 3 回学術集会について

主な内容について 3 巻 1 号に基づき浅井会長より報告された。

議事 7. 第 4 回学術集会について

大橋次期会長(筑波メディカルセンター)より会期は平成 19 年 6 月上旬, 会場としては「つくば国際会議場」を予定していることなどが報告された。

議事 8. 第 5 回学術集会会長について

次々期会長としては 4 月の臨時理事会で佐賀大学の瀧 健治教授が決定していることが八木代表理事により報告された。

議事 9. 専門医制度について

専門医制度検討委員会の小濱委員長より資料に基づき検討経過および, 詳細はさらに検討を進め理事会に最終案を提示することが報告された。